

1 新規・拡充・検討事業の実績及び評価

令和2年3月に改定した子ども総合計画（令和2年度～令和6年度）は、個別事業を「新規」「拡充」「検討」「継続」の4つの区分にわけ、重点的に取り組む項目を明確化しています。そこで、「新規」「拡充」「検討」については、事業担当所管において実績に対する詳細な自己評価を行うこととしました（対象事業は48事業）。「継続」については、各所管での進捗管理を基本とし、継続の状況と今後の方向性（今後も継続して行うか、事業内容の変更はないか等）を確認しました。

【評価段階の説明】

評価段階		評価の内容
5	計画以上に達成した	目標を上回る成果があった・計画した以上にすすんでいる
4	達成した	目標どおりに事業内容が充実している・計画どおりにすすんでいる・予定どおりすすんでいる
3	ある程度達成した	ある程度すすんでいる。ある程度の成果は認められる
2	あまり達成できていない	少しすすんでいるが課題がある。計画どおりにすすんでいない
1	達成していない	わずかしかすすんでいない・事業の実施や検討に至っていない

【着眼点別評価の際の考え方】

着眼点	評価の際の考え方
支援の質の向上	計画目標に掲げる内容を実施できたか。
	よりよい事業となるよう事業内容の充実や改善をしたか、または検討を行ったか。
量的拡充	量的な数値目標がある事業は目標とする量が達成できたか。
	申し込みや定員のある事業などは、定員オーバーなどへの対応や検討ができたか。
区民や地域等との協働	地域との話し合いや連携の機会等を持っているか。
	関係機関の間で連絡調整を行っているか。
区民ニーズに沿った事業運営	事業実施を通じて子どもの利益が尊重されているか。
	区民の目線に立った事業であったか。
	区民が必要とする事業内容であったか。
	子どもの参画はあったか。
安心・安全の確保	安心して生活できる状況が整っているか。
	事業が安全に実施できたか。
社会・経済、制度改変等への対応	社会的状況を踏まえて事業を実施できたか。
	予算や財政状況にあった事業を実施できたか。
	制度の変更に適切に対応できたか。

※ 複数の課で担当している事業のうち、担当課ごとに事業評価をした事業の実績報告書については、表題に色をつけています。